

静岡県

土地改良



写真：第3回静岡県農村の魅力フォトコンテスト入選作品（藤枝市岡部町殿）

○平成30年度 春の叙勲受章者紹介	1
○農業農村整備の集い ― 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて ―	1
○平成30年度 新人、若手職員研修会の開催	3
○平成30年度 第1回 監事会	3
○平成30年度 第1回 理事会	3
○「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2018 作品募集	4
○第4回 静岡県農村の魅力フォトコンテスト 作品募集	4
○静岡県の歴史的な土地改良施設の紹介	5
○ふじのくに美しく品格のある邑	6
○第41回 全国土地改良大会宮城大会のお知らせ	7



豊かな農村空間を創造する

みどり
水土里 ネット 静岡
静岡県土地改良事業団体連合会

平成30年度 春の叙勲受章者紹介



きよくじつしょうじゅしょう
旭日小綬章



ずいほうそうこうしょう
瑞宝双光章



すずき こうたろう
鈴木 浩太郎 氏

元 三ヶ日町長
元 浜松市議会議員

▲ 写真右：鈴木 浩太郎氏



すずき へいさく
鈴木 平作 氏

元 静岡県御殿場市・小山町
広域行政組合消防監
現 高根西部・一色土地改良区理事長

▲ 写真左：鈴木 平作氏

平成30年4月29日（日）、地方自治や社会福祉などへの功績を称える、平成30年度春の叙勲が内閣府から発令されました。

本県土地改良関係者からは、功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた方に授与される旭日章に、元浜松市議会議員の鈴木浩太郎氏。そして、公務等に長年にわたり従事し、成績を挙げた方に授与される瑞宝章に、高根西部・一色土地改良区理事長の鈴木平作氏が、受章の栄に浴されました。

ここに改めて、両氏の受章に対しお祝いを申し上げますとともに、今後一層のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

農業農村整備の集い ― 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて ―

平成30年6月13日（水）、砂防会館別館シェンバハ・サボー（東京都）において、農業農村整備の集いが開催されました。この集いには全国の土地改良事業関係者が参加し、来賓として、農林水産大臣の齋藤健氏、農林水産副大臣の礒崎陽輔氏、谷合正明氏をはじめとする、多数の国会議員のご臨席のもと、盛大に行われました。

開催にあたり、全土連会長の二階俊博氏から挨拶と、土地改良事業関係者への叱咤激励



二階俊博全土連会長 挨拶

があり、その後、農林水産大臣の齋藤健氏、自民党総務会長の竹下亘氏他多くの来賓の方々より祝辞をいただきました。

引き続き、宮城県の仙台東地区、京都府の巨椋池地区、熊本県の八代平野地区から農業農村整備事業に関する事例発表があり、その後要請文提案・採択が行われ、参加者一同によるガンバロウ三唱で閉会しました。

要請内容は以下の通りです。



ガンバロウ三唱

要請書（一部省略）

農業を次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくためには、農地の集積・集約、大区画化、汎用化等の農地整備や将来を見越した適時適切な農業水利施設等の維持・更新が必要となっている。加えて、全国各地でため池を含む農業水利施設等の老朽化が進行する中、大規模地震や気候変動による豪雨災害が多発しており、国民の生命と財産を守るためにも、ため池等の耐震化や洪水被害防止対策などの農村地域の防災・減災対策の推進を通じた国土の強靱化が重要な課題となっている。

また、水土里ネットには、力強い農業の実現等を通じた食料の安定供給や農業・農村の多面的機能を発揮させるため、先人達のたゆまぬ努力により維持・活用されてきた農地・農業用水等の地域資源を良好な状態で次世代に継承していく責務があることから、水土里ネットが有する技術、経験、水土里情報システムなど持てる能力を最大限に発揮するため、その体制強化の推進が喫緊の課題となっている。

水土里ネットは、農業・農村、更には、我々自身が抱える課題をも直視し、国が示した農政の展開方向を踏まえ、女性の能力も活用しつつ積極的な貢献を果たしていく覚悟である。

このため全国の水土里ネットは、これまで培ってきた経験と技術を活用し、「闘う土地改良」のローガンの下、次の事項の実現を国に強く要請する。

- 一 農業競争力の強化や国土強靱化を図るため、昨年九月に施行された改正土地改良法を積極的に活用した事業制度の現場へのより一層の普及を図ること
- 二 今国会で成立した改正土地改良法の適切な実施を図るため、その啓発普及に努めるとともに、土地改良区の運営基盤の強化に対する支援を推進すること
- 三 農業・農村が有する多面的機能をしっかりと次世代に引き継ぐため、農地や水路、農道の保全活動等が適切に実施できるよう、多面的機能支払制度への十分な支援を行うこと
- 四 これらの事業を円滑に行うため、平成三十一年度当初予算では、現場のニーズに十分応えられる規模の予算を確保すること

平成 30 年度 新人、若手職員研修会の開催

平成 30 年 4 月 20 日(金)、本会会議室において、平成 30 年度 新人、若手職員研修会を開催しました。この研修会は、新人、若手職員を対象として開催され、県内の土地改良区職員等 8 名が参加しました。

講師にはオール人材開発合資会社代表の旗持玲子氏を招き、社会人の心構え、コミュニケーションの大切さ、社会人生活を送るための基本的な考え方について講演していただきました。



研修会の様子

平成 30 年度 第 1 回 監事会

平成 30 年 6 月 20 日(水)、本会会議室において、平成 30 年度 第 1 回 監事会が開催されました。

今回は平成 29 年度決済監査が行われ、(1)「組織の状況、執行機関、事務機構、定款、規約、諸規定、事業関係に関する事項」、(2)「会費等の賦課及び徴収、会計経理及び財務に関する事項」の監査事項のもと、円滑かつ適正な運営を行うための確認・検討がなされました。



監事会の様子

平成 30 年度 第 1 回 理事会

平成 30 年 6 月 29 日(金)、静岡市産学交流センター(静岡市)において、平成 30 年度 第 1 回 理事会を開催しました。伊東会長をはじめ、池田副会長、大石副会長、理事 8 名、総括監事 1 名、監事 1 名、顧問 1 名、参与 5 名の出席をいただきました。

会に先立ち、伊東会長から、「6 月 1 日に土地改良法の改正が全会一致で通過した。「準組合員」に象徴されるような改正で、今後様々な機会の中で、それぞれの立場でよく咀嚼をしなければならない」と思っている。今後人口が減っていく中での農業農村事業の在り方が問われる時期での、去年に引き続き改正となったと理解した上で、これまでの手法にこだわらない、我々の行動、活動、運動の在り方というもの問われている」と挨拶がありました。

引き続き伊東会長を議長とし、「平成 29 年度事業報告及び収支決算並びに財務諸表、財産目録について」をはじめ、「平成 29 年度資金運用の経過及び結果報告について」など全 5 議案が提出され、全て原案通り可決されました。



理事会の様子

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2018 作品募集

日本の農業農村は、生きるために必要な食料を生産する場所であるとともに、国土の保全、豊かな自然環境、安らぎのある農村景観の形成などの多目的機能を持った、国民の生活に大変重要な役割を果たす、かけがえのない財産です。

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展は、この私たちの財産を守り次世代へと引き継いでゆくため、子どもたちに田んぼや農村に関心をもってもらい、棚田や田んぼ、水路やため池による水の循環や環境保全への理解を促し、大人たちへのメッセージとして子どもたちのまなざしを届けることを目的として開催します。

皆様のご理解とご協力をいただき、たくさんのご応募をお待ちしております。

テーマ 新発見！ぼくのわたしのふるさと

- 応募資格：小学生以下
(クラスや学校単位での共同作品も可)
- 応募締切：平成30年9月12日(水)必着
- 応募・問い合わせ先：
静岡県土地改良事業団体連合会
総務企画課内 子ども絵画展係

〒420-8601

静岡市葵区追手町9番6号 静岡県庁西館9階

TEL：054-255-5151 FAX：054-221-3581

E-mail：soumu@sizdoren.jp



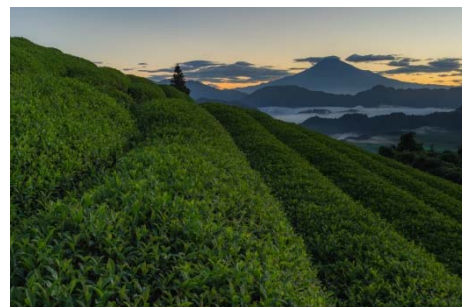
※ 応募規定や応募方法などの詳細については、本会のホームページ、または全国水土里ネットのホームページをご覧ください。

第4回 静岡県農村の魅力フォトコンテスト 作品募集

農村の魅力伝える写真を通じて、農業・農村の果たす役割や大切さを県民に伝えることを目的とした、「第4回静岡県農村の魅力フォトコンテスト」を開催します。

県内の美しい農村景観や日々の暮らしの風景など、農村の魅力伝える写真を募集します。

皆様からの、たくさんのご応募をお待ちしております。



第3回コンテスト入選作品

テーマ 伝えたい『美しい農山村 SHIZUOKA』の魅力

- 募集部門：一般部門、SNS部門 (facebook、instagram)
- 応募期間：平成31年1月9日(水)まで
(一般部門については、当日消印有効)

※ 応募規定や応募方法などの詳細については、「静岡県農地保全課」と、検索をして静岡県のホームページをご覧ください。

静岡県歴史的
土地改良施設

きたやまようすい

北山用水

所在地：富士宮市内野

北山用水は、富士宮市内野地先を流れる一級河川・芝川を水源とする、総延長約7.9kmの農業用水です。天正10年(1582年)、北山本願寺の願いによって、徳川家康の命を受けた代官・井出志摩守が開発したことから、本門寺用水とも呼ばれています。

北山用水ができる前

富士宮市のある富士山麓は、広大で緩やかな傾斜をもつ土地に恵まれています。ところが、その土壌は水を通しやすい火山噴出物が厚く積み重なっているため、雨が降ってもその大部分が地下に浸透してしまいます。

そのため、富士山には八百八沢といわれるほどの多くの沢がありますが、常に水の流れている沢はほとんどありません。沢に囲まれ、富士山中腹一帯の高台にある地域の飲料水は、雨水に頼らざるをえない状態でした。

北山用水の開発

富士山南西麓で水の流れる川は、猪之頭湧水群を源流とする芝川水系のみであったといわれています。用水路の井口(水の取入口)は、横手沢地域付近を流れる芝川に設けられました。

開削の途中、多くの沢(猪の窪川・邯鄲沢・潤井川・竹沢・大久保沢・志田水沢・鞍骨沢・春沢)が行く手を阻みましたが、掛樋や埋樋を造ることでそれらを乗り越え、通水させました。

北山用水の通水によって、生活水の供給はもちろん、灌漑用水にも水を振り分けることができるようになりました。それぞれの集落に分水されることで、生産性の低い畑地帯が徐々に水田化され、天正18年(1590年)には米280俵の生産が可能な水田も出現したようです。

用水の維持管理

富士山の沢は、普段は涸れ沢であっても、一旦上流で大雨が降ると、土石流が発生する危険な一面を持っています。北

山用水の維持管理は、八百八沢で起こる激しい土石流との闘いでもありました。

特に沢を渡す掛樋や埋樋、開渠樋は、大雨の度に大きな被害を受けました。

中でも享保12年(1727年)に行われた大久保沢の掛樋修復は、水が一杯になると約23tもの重さになる箱樋(長さ約33m)を、深さ10m以上の深い谷に建設するという大がかりなものでした。

北山用水の今

地域の土木技術の限りを尽くして整備・維持されてきた北山用水は、昭和42年(1967年)以降には用水路がコンクリート化され、安定的な水量が確保されるようになりました。昭和44年(1969年)以降には、国土交通省による砂防事業(沈砂地工や河道改修工事など)によって、土石流の被害が減少しています。

北山用水は、農業用、防火用、生活用の水、また上水道の水源として現在も利用され、地域の土壌を潤し続けています。



【協力】
富士宮市 北山出張所

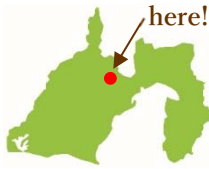
【参考資料】
『本門寺用水のこと 一本門寺用水50年顕彰記念一』、
『富士山の自然と社会』、『静岡県土地改良史』
『富士宮市公式ホームページ』
(URL) <http://www.city.fujinomiya.lg.jp/>



ふじのくに
美しく品格のある邑
Charming and Graceful Villages in "FUJINOKUNI"

おおさわちく
大沢地区 — 静岡市葵区 —

平成 26 年度 知事顕彰 受賞



安倍川の支流である西河内川の上流部。標高340mに位置し、全方位を霧深い山と茶畑に囲まれた大沢地区。

名産のお茶に親しんでもらおうと始まった「縁側カフェ」は、大沢地区の方が自宅の縁側を開放して、お茶とお茶請けを提供するもので、美しい景観と美味しいお茶、温かな邑人たちとの触れ合いが評判になり、県外にもたくさんのファンがいます。

〈 近日開催イベント 〉

- 縁側カフェ：毎月 第2・第4日曜日
(利用料：一律300円)
- | | |
|-------------|---------------|
| 春・夏 (4～10月) | 10:00 ~ 15:00 |
| 秋・冬 (11～3月) | 10:00 ~ 14:00 |



お茶畑は生活の風景に馴染んでいる



出会いが生まれる縁側に笑顔が溢れる

との
殿 — 藤枝市岡部町 —

平成 26 年度 知事顕彰 受賞



害虫駆除の意味を持つ「虫送り」や、戦国時代の「のろし」が起源とされる「朝比奈大龍勢」等、伝統が大切に受け継

がれている殿地区。行事を通して、地域のお年寄りから子どもまで、世代を越えたコミュニティの輪が邑には広がっています。

邑人をあげて休耕田に種を蒔き、10月中旬頃に地域一帯をピンクに染める広大なコスモス畑は、週末になると大勢の見物客が訪れる、人気スポットです。

〈 近日開催イベント 〉

- 虫送り：平成30年 8月23日(木)
- 朝比奈大龍勢：平成30年10月20日(土)
(静岡県指定無形文化財 / 2年に一度打ち上げられる)
- コスモスイベント：平成30年10月上旬～中旬まで



子ども達が掛け声をかけながら火を灯す虫送り



虫送りが終わると水田はコスモス畑へ変化

第41回 全国土地改良大会宮城大会のお知らせ

第41回全国土地改良大会（宮城大会）が、宮城県宮城郡利府町の「宮城県総合運動公園（グランディ・21）」をメイン会場に開催されます。

この大会は、農業・農村の重要性と、「農」や「食」、「環境」を支える基盤となる土地改良事業（農業農村整備）の価値や役割を、広く国民に理解していただくとともに、東日本大震災から復興した宮城県の農業・農村の姿を、国民、農業者、水土里ネット、行政関係者など広く全国に発信することを目的としたものです。

テーマ

先人の意志を受け継ぐ「伊達の地」に
水土里の絆 復興の歩み

● 開催日程

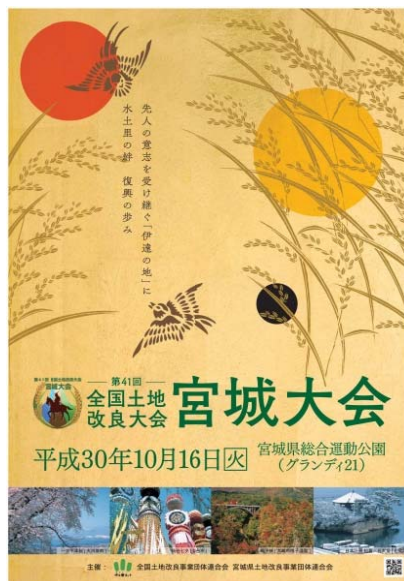
大会式典：平成30年10月16日（火）
会場：宮城県総合運動公園（グランディ・21）

事業視察：平成30年10月17日（水）、18日（木）

● 主催

全国土地改良事業団体連合会
宮城県土地改良事業団体連合会

多数の皆さんのご参加を、お願い致します。



水土里ネット静岡（静岡県土地改良事業団体連合会）

ホームページ <http://www.sizdoren.jp>

本部（事務局、総務企画課、施設管理課、事業課）

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
TEL (054)255-5151 FAX (054)221-3581
E-mail 総務企画課 総務担当 soumu@sizdoren.jp
企画担当 kikaku@sizdoren.jp
施設管理課 水土里担当 kanri-c@sizdoren.jp
事業課 事業担当 jigyo@sizdoren.jp
換地担当 kanchi@sizdoren.jp

東部事業所

〒410-0055 沼津市高島本町1-3
TEL (055)920-2269 FAX (055)920-2192 E-mail toubu@sizdoren.jp

中部事業所

〒422-8031 静岡市駿河区有明町2-20
TEL (054)286-9273 FAX (054)286-9274 E-mail shisetsu@sizdoren.jp

西部事業所

〒438-0086 磐田市見付3599-4
TEL (0538)37-2316 FAX (0538)37-2403 E-mail seibu@sizdoren.jp